

令和 6年度予算見積調書

課室名：河川環境課
 担当名：ダム管理担当
 内線：5116

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P117	スーパー・シティまちづくり支援事業費(浮きウキカーボンニュートラル)			一般会計	土木費	河川費	河川改良費	川の再生推進費	
事業期間	令和6年度～令和12年度	根拠法令	河川法第9条			針路	10 豊かな自然と共生する社会の実現	SDGsゴール	8, 11, 13, 15, 17
						分野施策	1002 恵み豊かな川との共生	SDGsターゲット	8-9, 11-5, 13-1, 17-1
1 事業概要 再生可能エネルギー活用基盤整備支援 50,000千円 スーパー・シティプロジェクトの支援・拡充(久喜市) 【取組概要】 県管理調節池を活用した太陽光発電設備の設置を市町村に促すための基盤整備により、再生可能エネルギーの地産地消や地域防災によるレジリエントなまちづくりを促進(久喜市1箇所)				5 事業説明 (1) 事業内容 再生可能エネルギー活用基盤整備支援 50,000千円 スーパー・シティプロジェクトの支援・拡充(久喜市) (2) 事業計画 県管理調節池を活用した太陽光発電設備の設置を市町村に促すための基盤整備により、再生可能エネルギーの地産地消や地域防災によるレジリエントなまちづくりを促進(久喜市1箇所) <市> 再生可能エネルギーの地産地消の仕組みづくりを構築し、地域防災によるレジリエントなまちづくりを推進 <県> 県管理調節池を活用した太陽光発電施設の設置を促すための基盤整備 (3) 事業効果 ア 県事業と市町村事業を連携して実施し相互に事業効果を向上させることで、地域における事業効果の最大化を図る。 イ 県が管理する河川空間を活用した再生可能エネルギー(太陽光発電)施設を市が整備し、埼玉版スーパー・シティプロジェクトに取り組む市町村の対象エリアに電気を供給する仕組みが構築できることで、長期的・安定的な再エネ電源を確保し、非常時にも活用可能となる。 ウ 河川空間を活用した太陽光発電施設の整備、適切な治水施設の管理による「レジリエント」なまちづくり(誰もが安心して暮らし続けられる“持続可能な地域”の形成)が進められ、埼玉版スーパー・シティプロジェクトを実現することができる。					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)				【活動指標(アウトプット)】 ア 太陽光発電設置箇所R6 1箇所 イ 占用料徴収(約5,000千円/年(160円/m ² ・年))					
3 地方財政措置の状況 県単独河川改修事業債 充当率 90% 交付税措置なし				【活動指標(アウトカム)】 ア 埼玉県としてのカーボンニュートラルの推進 イ 再生可能エネルギー3,000Mwh(750世帯分)創出					
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 (1) 人件費(既存分) 9,500千円×0.7人=6,650千円 (2) 人件費(増員要求分) なし (3) 組織の新設・改廃 なし									
予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比
		県債							
決定額	50,000	40,000						10,000	50,000
前年額	0							0	

事業内訳書

事業名	スーパー・シティまちづくり支援事業費（浮きウキカーボンニュートラル）		
単位事業名	スーパー・シティまちづくり支援事業費（浮きウキカーボンニュートラル）	予算額	50,000千円

○歳入

（単位：千円）

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
県債・ 土木債	40,000	40,000	県単独河川改修事業債
一般財源	10,000	10,000	
合計	50,000	50,000	

○歳出

（単位：千円）

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	20,000	20,000	設計・調査費
工事請負費	30,000	30,000	搬入路工事等
合計	50,000	50,000	